

一般質問通告一覧表

令和7年3月19日

No. 1

番号	質問事項・質問の要旨	答弁者	質問者
1	<p>1. 生涯学習センター 太子の森について</p> <p>① 施設等利用券配布事業について</p> <p>② 太子町文化・スポーツ活動活性化補助金について</p> <p>③ 生涯学習センター太子の森の運営面の改善について</p>	町 長 教育長	はまち議員
2	<p>1. 山本家住宅（叡福寺前）の今後について</p> <p>○山本家からご寄付をいただいた、これまでの経緯又、条件等について。</p> <p>○ご寄付をいただいてから、これまでの検討状況について。</p> <p>○今後の活用方法について。</p> <p>○商業活用にあたっては、建築物の改築等はどの程度できますか。（国登録有形文化財）</p> <p>○山本家に続く、第2～第3の地域資源の活用、又は太子町全体の考えについて。</p>	町 長	中村議員
3	<p>1. 近鉄上ノ太子駅等について</p> <p>近鉄上ノ太子駅は、鉄道駅のない太子町の最寄駅として機能しており、太子町の自家用有償旅客運送（自家用バス使用のコミュニティバス）による「たいしのってこバス」が発着している。行政区域外だが太子町の玄関口としての役割は大きく、今後の取り組みを問う。</p> <p>1. 近鉄上ノ太子駅への急行停車について</p> <p>2. 近鉄上ノ太子駅ロータリーについて</p>	町 長	斧田議員

番号	質問事項・質問の要旨	答弁者	質問者
4	<p>1. 誰もが乗れる、利用できる、安心・安全で便利な公共交通の実現を</p> <p>公共交通の充実は、住民のいのちとくらしを守り、地域が活性化するまちづくりの土台。 金剛バス廃止後の地域の変貌、住民の生活、高齢者の外出、地域の活性化はどうなっているか、公共交通の利便性の向上が求められている。 バスの本数や路線の変更・縮小、お出かけ支援の廃止、料金が200円になった。鉄道へのアクセスの便数も減る中、「利用頻度が減った」「利用できなくなった」「日中町内を走るバスの便数が減り、通院・買い物をして帰りのバスがない」「地域支え合い型の移動サービスの予約が取りにくくなっている」など、様々な住民の声が届いている。また、「たいしくん」（デマンドバス）がどう利用されているのかもあまり知らされていない。これらの住民の声に町としてどう答えていくのか。 自動運転バスは、住民の声に応える公共交通になると考えるのか。 交通弱者の外出支援を充実させるためにも福祉移動サービスとして走らせていた「たいしくん」（デマンドバス）のバスの効果的な活用、介護タクシー・タクシーへの補助制度を求める。</p>	町 長	岡野議員
5	<p>1. 「万博」は安全面での懸念はないのか</p> <p>安全面の確認を求めても、確かな回答がないなど不安が払拭されないことから、児童生徒を連れての「遠足」中止を決めた自治体・学校が増えている。 太子町は、不安に思っていないのか。「間違いなく安全」との確信があるのか。</p> <p>2. 「道の駅」のあり方は住民に問え</p> <p>「公共交通（循環バス）を走らせてほしい」「公民館を建て替えてほしい」「太子町にも図書館を」等々、私たち日本共産党は、住民アンケートも実施し、住民の声を聞き、国・府・町政に届けている。 『道の駅』の活性化や、住民が「行くことができる『道の駅』であってほしい」「トイレをきれいにしてほしい」という声は聞いたことがあるが、「『道の駅』を広くしてほしい」の話は残念ながら聞いたことがない。 一体、誰の発案なのか。 山本家住宅有効活用の話が、2月21日の全員協議会で出たところ。「点を面に」という説明もあった。この結果が出てからでも遅くないのでは。 物価高騰策が望まれているときに『道の駅』の優先順位がなぜ高いのか。財政難を口にしながら、国・府からの財政支援のめども立っていないのに進めていいのか。 なぜ、議会が知らないうちに「拡張」ありきで話を進めようとしているのか。 「知らないこと」が多すぎる中、町財政負担が大きすぎる。 十分に住民・議会に説明の上、『道の駅』活用を今後どうするのか考えることを求める。</p>	町 長	西田議員

番号	質問事項・質問の要旨	答弁者	質問者
6	<p>1. 災害時の円滑なペット避難と自治体の対応について</p> <p>①災害時にペットと同行避難した場合の避難所の対応について</p> <p>②ペットの災害対策ガイドラインの普及・啓発について</p>	町長	辻本議員
7	<p>1. 町立学校体育館の空調設置工事について</p> <p>・小中学校体育館空調設置工事設計委託の対象は、太子町立中学校、磯長小学校、山田小学校の3校で、スケジュールとしては、令和7年度に実施設計を行い、令和8年度に全3校分の工事を実施するという事か。 そうであるなら、令和8年度の工事は、授業への支障を少なくするため夏休み期間中に全3校とも実施し、夏休み明けから早速稼働できるように進めていただきたいがどうか。 この空調整備事業は、その目的を災害発生時に避難所となる学校の体育館を対象としているが、避難所に指定されていない総合体育館についても、夏場の利用者の熱中症などの危険回避や安全確保のために、小中学校に続けてぜひとも整備を進めていただきたいがどうか。</p> <p>2. 町立学校教室の照明のLED化について</p> <p>・学校においては、端末機の配置、トイレの改修、体育館の空調整備と、順次計画的に進められているが、一方、現在の教室の照明は蛍光灯であり、この蛍光灯が令和9年末までに生産が終了することから、それ以降の球切れなどへの対応は、一時的には蛍光灯を蓄えておいての対応が考えられますが、現実的にはLEDへの切替えが必要と考えます。 家庭、事業所など、あらゆる建物の照明器具に関わってくることから、皆が国、自治体、メーカーなどの動向にアンテナを張りつつ、この問題には自治体として節度をもって対処していかなければなりません、目下のお考えをお聞かせください。</p>	教育長	松井議員
8	<p>1. 観光振興で太子町の活性化を</p> <p>太子町観光まちづくりビジョン（後期）の目標として「くらしの舞台」として選ばれるまちと設定されていますが、現状と今後の事業展開について問う。</p>	町長	早瀬議員